



SENDAI

経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

仙台市の市政と財政状況

令和4年7月



仙台市IR資料

1

仙台市の概要とまちづくり

仙台市の概要	・・・2
防災環境都市・仙台	・・・3
SDGs（持続可能な開発目標）の推進	・・・5
脱炭素・資源循環型社会への取り組み	・・・6
市政トピックス①「全国都市緑化仙台フェア」	・・・7
市政トピックス②「次世代放射光施設の整備」	・・・8

2

グリーンボンドの発行

グリーンボンドの発行	・・・10
グリーンボンド充当事業	・・・11

1 仙台市の概要とまちづくり

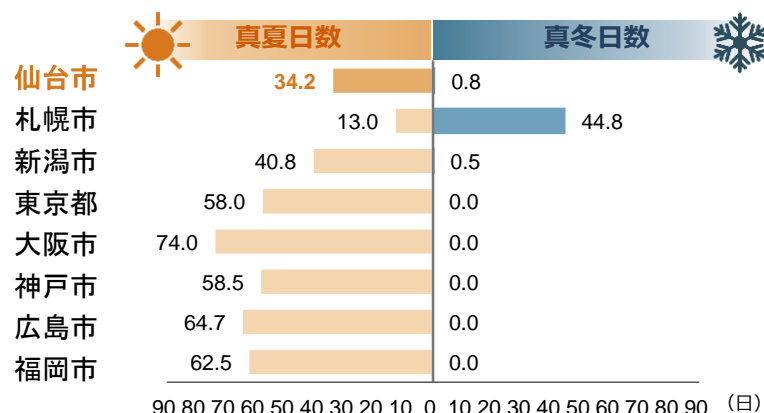
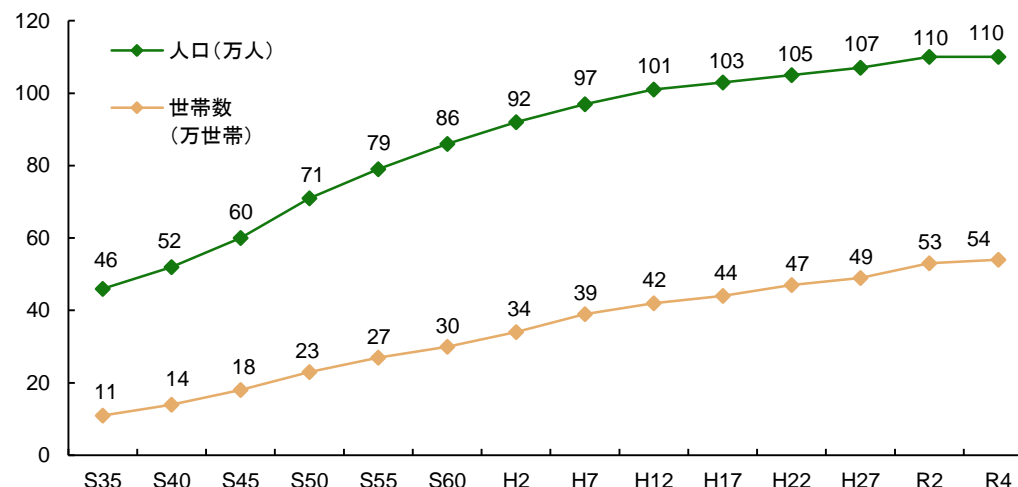


経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

仙台市の概要

- 仙台市は、1600年に伊達政宗公が居城を定めて以来、雄藩の城下町として栄え、平成元（1989）年に東北で初めての政令指定都市となりました。「杜の都」と呼ばれる豊かな自然環境、「学都」としての高度な研究開発機能を有し、東北の政治・経済・学術・文化の中核都市として発展してきました。

人口	約110万人（令和4年5月1日現在推計人口）
世帯数	約54万世帯（令和4年5月1日現在推計人口）
面積	786.35km ²
気候	太平洋に面した海洋性気候 寒暖の差が少ない



真冬日/最高気温0℃未満
 真夏日/最高気温30℃以上 平成22年～平成27年平均

アクセス	東京から新幹線で約90分 国内10都市、海外6都市と空路で結節
経済	市内総生産（名目）：約5兆3,273億円（令和元年度市民経済計算） 年間商品販売額：約9兆1,240億円（平成28年経済センサス活動調査）
年間観光客数	約2,181万人（令和元年）

防災環境都市・仙台

- 「防災環境都市」づくりは、杜の都の豊かな環境を基礎とし、東日本大震災の経験や教訓を踏まえた快適で防災力の高い都市を創造するとともに、都市ブランドとして磨き上げていくことを目指すものです。

背景

「杜の都」の
環境づくりの歴史

大震災の経験・教訓と
震災復興計画

国連防災世界会議開催と
仙台防災枠組の採択等

「仙台市防災・減災のまち
推進条例」の制定



施策

防災環境まちづくり

防災環境ひとづくり

経験と教訓の伝承等

復興の
取り組み

世界の防災文化への貢献・都市ブランドの確立
安全・安心で持続可能な都市づくり

仙台防災枠組2015-2030 ～仙台から世界へ～

- 2015年、仙台市で開催された第3回国連防災世界会議において、東日本大震災の経験と教訓が取り入れられた「**仙台防災枠組2015-2030**」が採択されました。
- 本市は採択都市として「防災環境都市」づくりの中で、枠組の基本的な考え方である「**より良い復興（ビルド・バック・ベター）**」などを実践しています。
- 世界の国々の防災・減災への取り組みの指針となるもので、**SDGs、パリ協定と並んで、2030年に向けた3つのグローバル・アジェンダ**と呼ばれています。



わたしたちが優先すべき
災害への備え

JCC-DRR



SDGs（持続可能な開発目標）の推進

- 仙台市では、SDGsの推進を市民や企業などの多様な主体と連携して取り組むにあたっての共通理念として、今後のまちづくりを進めていくために、「**仙台市SDGs（持続可能な開発目標）推進方針**」を策定しています。
- SDGs の持続可能という考えは本市の施策全般に通じるとともに、東日本大震災を経て、防災環境都市を目指すグローバルな施策展開の観点からも重要なものであることから、本市は、SDGs の推進を市民や企業などの多様な主体と連携して取り組むにあたっての共通理念として、今後のまちづくりを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs未来都市」の選定（2020年7月）

- SDGsの達成に貢献する優れた取り組みを行う自治体として、内閣府に選定されました。
- 東日本大震災の被災経験を踏まえた、本市ならではの防災や環境配慮の視点を織り込んだまちづくり「**防災環境都市・仙台**」の推進の提案が評価されました。



仙台防災未来フォーラム

- 仙台防災未来フォーラムの1プログラムとして、「**SDGs×防災×杜の都シンポジウム**」を共催しました。（2021年・2022年）



「SDGs×防災×杜の都シンポジウム」（@仙台防災未来フォーラム）

脱炭素・資源循環型社会への取り組み

- 仙台市は**2021年にゼロカーボンシティ宣言**を行い、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策や資源循環に率先的に取り組むため、家庭や事業活動における温室効果ガス排出削減のための事業とともに、プラスチックごみや食品ロスの削減などごみ減量・リサイクルに向けた事業等を推進しています。
- また、環境分野においても東北大学と連携し、グリーンビルディングの整備推進等、科学技術を活用した課題解決を目指してまいります。



「ともにアクション 地球温暖化対策」啓発リーフレット



家庭の未利用食品をフードバンク等に提供するフードドライブ活動

トピックス①「全国都市緑化仙台フェア」

- 全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、知識の普及等を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催する国内最大級の花と緑の祭典です。
- 仙台フェアでは、「**杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く**」をテーマに掲げ、メイン会場となる青葉山公園は、人々がみどりに集い、新たなライフスタイルを体感できる舞台へと生まれ変わります。

開催期間：令和5年4月26日（水）～6月18日（日）（54日間）



メイン会場（イメージ）

目標入場者数
100万人

仙台フェアの開催を契機として、ポストコロナにおける交流人口拡大を図ります。

開催意義

- 1 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」
- 2 みどりと親しむ生活と新たな交流の創出
- 3 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信



メイン会場の大花壇（イメージ）



まちなかエリア（イメージ）

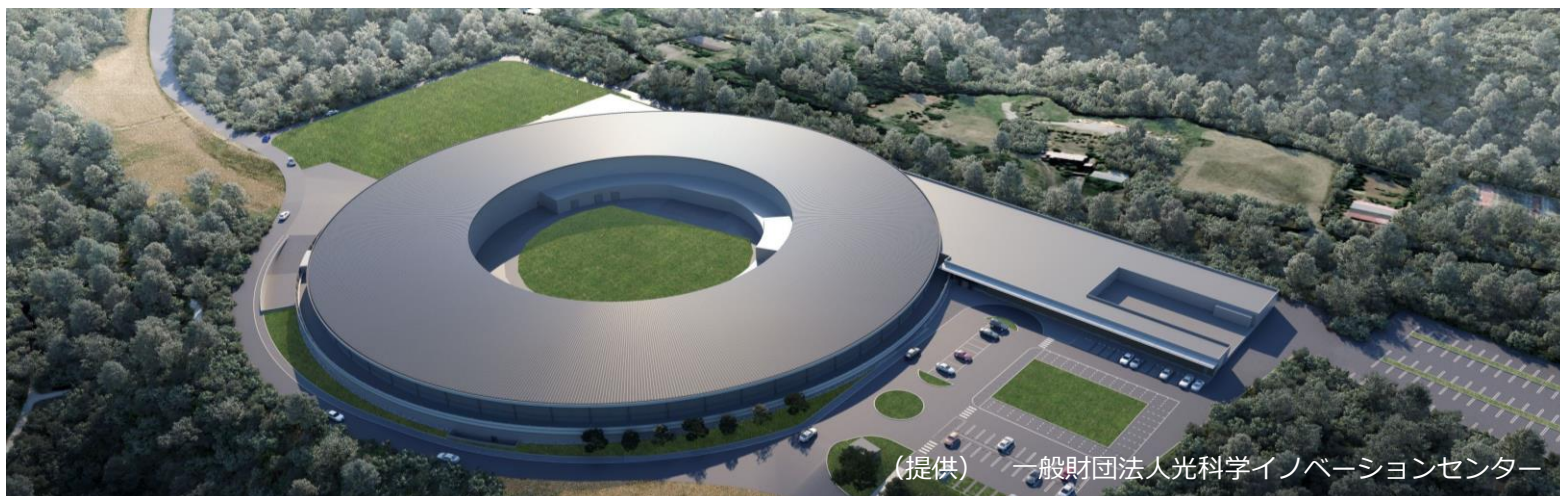


未来の杜せんだい2023
～ Feel green! ～

フェア公式ロゴマーク

トピックス② 「次世代放射光施設の整備」

- 2023年度施設完成、2024年度本格稼働（予定）の次世代放射光施設の立地を、仙台・東北の産業におけるイノベーションや付加価値の創出などにつなげ、地域経済への波及効果を最大限生み出す「光イノベーション都市」実現を目指します。



施設完成予定図

トライアルユース（既存放射光施設活用事例創出事業）



過去の創出事例集（市HPで公開中）

関係機関との連携



「放射光の産業利用促進に関する連携協定」締結式

2 グリーンボンドの発行



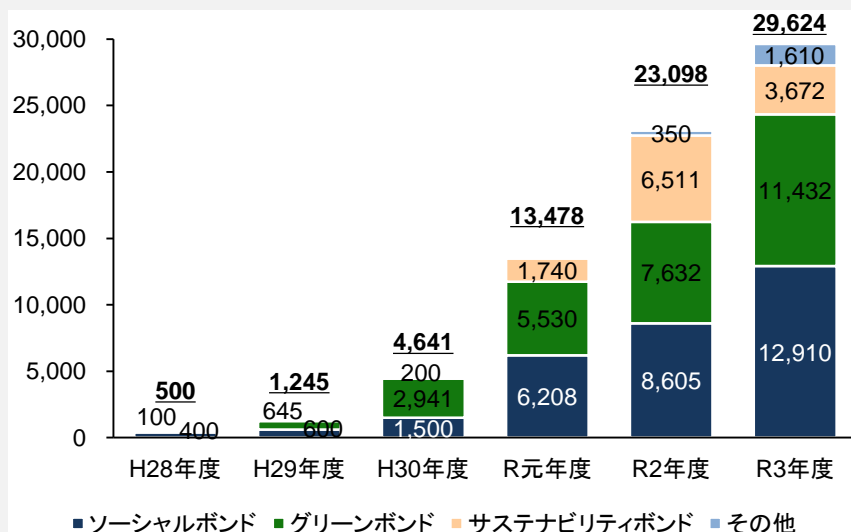
経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

グリーンボンドの発行

- 気候変動適応 ・ 緩和両面に取り組む施策を行うための資金調達として、令和4年度に地球温暖化対策などの環境施策への活用を目的とした市債である「**グリーンボンド**」を東北の自治体で初めて発行します。

SDGs債の状況

- 近年、脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れを背景に、環境改善や社会的課題の解決に寄与する事業に資金使途を限定したSDGs債の発行が急増



※：日本国内で公表されたSDGs債の発行額の推移。単位は億円

※：その他はサステナビリティ・リンク・ボンド、トランジションボンドの合計

発行意義

- 本市が進める「**防災環境都市づくり**」を加速させる取り組みであるとともに、脱炭素社会の実現に貢献。
- 本市が脱炭素都市の実現に向けて積極的に取り組む姿勢を示すことで、他自治体や事業者のESG投資に対する機運醸成を図り事業活動における脱炭素化につなげるなど、持続可能な社会実現に向けた取り組みを促進。
- 投資家は、投資を通じてリターンを得られるとともに、SDGsの達成に貢献することが可能。
- ご購入された法人名を本市HP上で公表させていただく予定です。SDGs達成にかかる取り組みのアピールにご活用ください。

グリーンボンド充当事業①

■市有施設への再生可能エネルギー設備導入

グリーン適格プロジェクト分類	再生可能エネルギー
プロジェクト名	市有施設への再生可能エネルギー設備導入
プロジェクト概要	環境負荷の低減と併せ防災性の向上を図るための、 指定避難所等への防災対応型太陽光発電システム整備 ・ 令和4年度の充当先は仙台市立坪沼小学校跡施設を予定
主なレポーティング項目	整備事業実績（導入施設数） CO2排出削減量、発電量

【太陽光パネル】



【蓄電池】

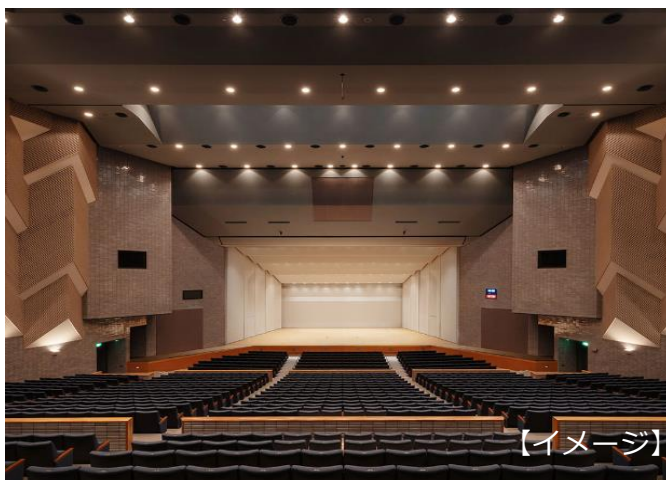


グリーンボンド充当事業②

■市有施設のエネルギー効率改善を含む長寿命化改修

グリーン適格プロジェクト分類	エネルギー効率
プロジェクト名	市有施設のエネルギー効率改善を含む長寿命化改修
プロジェクト概要	<p>安心して利用できる市有施設を持続的に提供するための長寿命化・省エネ化を目的とした大規模改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の充当先は青葉区役所、泉文化創造センター、仙台市博物館等を予定
主なレポーティング項目	更新したLED照明、高効率空調設備の数量 エネルギー消費量の削減量（削減率）

【泉文化創造センター】



【仙台市博物館】



グリーンボンド充当事業③

■ごみ処理施設整備

グリーン適格プロジェクト分類	エネルギー効率
プロジェクト名	ごみ処理施設整備
プロジェクト概要	<p>安定的なごみ処理体制の確保を目的とした老朽化した基幹的設備の更新施設の長寿命化、省エネルギー化対策及びライフサイクルコストの削減を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の充当先は松森工場を予定
主なレポーティング項目	<p>工事進捗状況</p> <p>CO2排出削減量（工事終了年度）</p>

【松森工場】



【イメージ】

グリーンボンド充当事業④

■ 環境性能の高い市有施設の新築、改修

グリーン適格プロジェクト分類	グリーンビルディング
プロジェクト名	環境性能の高い市有施設の新築、改修
プロジェクト概要	<p>市役所本庁舎をはじめとする環境性能の高い市有施設の新築・改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の充当先は仙台市本庁舎の建替え（CASBEE Sランク、BELS評価 ZEB Ready取得予定）を予定
主なレポーティング項目	<p>整備施設名</p> <p>建物に関する環境認証の取得状況</p>

【仙台市本庁舎】



【イメージ】



【イメージ】

グリーンボンド充当事業⑤

■ 防災対策

グリーン適格プロジェクト分類	気候変動への適応（豪雨災害等から市民を守るための防災対策等）
プロジェクト名	道路等防災対策、道路整備（排水性・透水性舗装） 河川改修、浸水対策 急傾斜地緑地防災対策
プロジェクト概要	豪雨等近年激甚化する災害時における 土砂災害等のリスクを低減するための道路、河川、公園の防災対策事業
主なレポーティング項目	整備箇所名、整備箇所数 整備距離・面積、整備延長

【道路等防災対策】法面对策工事

整備前



整備後



【河川改修】護岸工事

整備前



整備後



防災環境都市づくりを加速させるとともに、 持続可能な社会の実現へ

グリーンボンドの発行概要

年限	5年（満期一括償還）
発行総額	50億円
各公債の金額	1,000万円
資金使途	環境問題の解決に貢献する事業に限定
条件決定日/ 払込日	令和4年9月を予定
主幹事	みずほ証券株式会社（事務）、大和証券株式会社
適合性評価	第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、評価を取得
購入対象先	機関投資家